

農作業特報

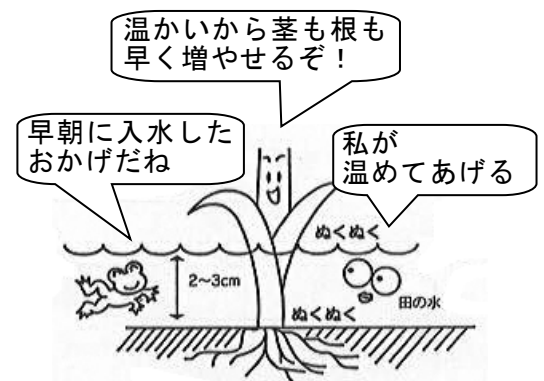
黒部市
黒部市農業技術会議

品質の良い米づくりには、初期生育の確保による『穂数型稲』と適切な中干しによる『根づくり』が重要となります。

生育期に応じた水管理の実践により、気象変動に強い稲を目指しましょう。

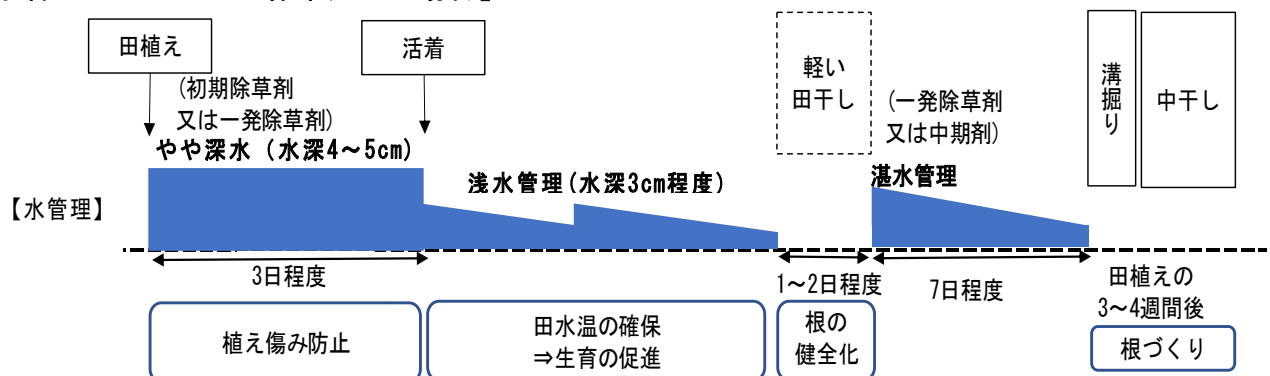
1. 水管理

- 活着後は、浅水管理（水深3cm程度）を徹底しましょう。
- 入水は、朝または夕方に行い、日中は止め水にして水温を高め、分けつ（新しい茎）の発生を促しましょう。
- 田がわいたり、藻が発生した場合は、水の入れ替えや軽い田干しを行い、根に酸素を与えましょう。
- 軽い田干しは、風の穏やかな温かい日に行いましょう。
 - ・ 一発除草剤を散布済みの場合 → 軽い田干しは散布後7日以降に
 - ・ 中期除草剤を散布予定の場合 → 軽い田干しは散布前に
- × チラ干しは、苗が傷んだり、雑草が発生しやすいため、厳禁です。
- × 深水では、水温が上がりやすく、分けつの発生が少なめで軟弱徒長ぎみになります。



<初期生育の良い稲>

【水管理のイメージ：体系処理の場合】



補植用苗は、いもち病発生のもと！ 補植後は速やかに処分しましょう！！

農業用水路への転落事故に気を付けて！！

2. 溝掘り

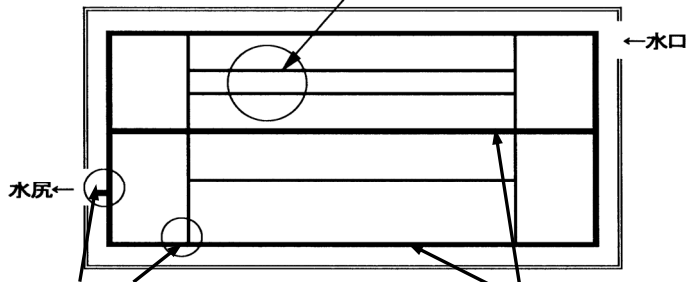
ほ場全体の入水・排水を考慮して設置しましょう

- 中干しの効果を高めるため、6月初旬までに溝掘りを行きましょう。
- 溝掘り前に軽い田干しを行い、土を落ち着かせた後に設置しましょう。

〔設置の目安は『額縁』 + 『5 m 程度の間隔に 1 本』。
“水の溜まっているところ”や“乾きにくいところ”は重点的に。〕

- 掘った溝は、確実に水尻（排水口）と連結しましょう。

水がいつも溜まっている所（停滞水）や乾きにくいところは重点的に！



掘った溝は、排水溝に
しっかりつなぐ！
ほ場周囲と中央の 1 本は特にしっかりと掘る

3. 中期除草剤使用のポイント

適期に散布し、湛水状態を保つ

剤型	薬剤名	処理時期	使用量	使用上の注意点
粒剤	ブイゴール SM 1キロ粒剤	田植後 15～30 日 (ノビエ 3.5 葉期まで) 収穫 60 日前まで	1kg/10a	・低温(平均気温が 15～16℃以下)時は使用を控える。
	※サンパンチ 1キロ粒剤	田植後 15～30 日 (ノビエ 3.5 葉期まで) 収穫 60 日前まで	1kg/10a	・ <u>イネ4葉期以前</u> に使用しない。
	※レプラス 1キロ粒剤	田植後 20～25 日 (ノビエ 4.0 葉期まで) 収穫 60 日前まで	1kg/10a	・ <u>薬害回避のため</u> 、砂質土壌及び減水深 2cm/日以上の水田、極端な浅植えの水田での使用は避ける。
	※テッケン 1キロ粒剤	田植後 15～30 日 (ノビエ 4.0 葉期まで) 収穫 60 日前まで	1kg/10a	・ <u>薬害回避のため</u> 、砂質土壌及び減水深 2cm/日以上の水田、極端な浅植えの水田での使用は避ける。
投込み	※レプラス ジャンボ	田植後 20～25 日 (ノビエ 4.0 葉期まで) 収穫 60 日前まで	400g/10a (10 パック /10a)	・ <u>水深6cm以上</u> の深水状態で水田に均等に投げ入れる。 ・藻が多発しているほ場では使用しない。
	※テッケン ジャンボ	田植後 15～30 日 (ノビエ 4.0 葉期まで) 収穫 60 日前まで	500g/10a (10 パック /10a)	

※印の中期除草剤は、「やまだわら」には使用しないでください（薬害が発生する可能性有り）。

- 散布前に、軽い田干しや水の入れ替え（水温が高い時は必須）を行きましょう。
- 『大雨』や『30℃以上の高温』が予想される場合は、除草剤を散布しないでください。
- 散布時は田面が見えない程度の深水とし、散布後 7 日間は「止め水」を保ち、落水やかけ流しはやめましょう。

農薬の散布時は、隣接ほ場や住宅地周辺などへの飛散防止に努めましょう。

富山県農薬「危害防止運動期間中 4/13～9/14」